

優れた耐食性でコンクリート構造物の機能を長期的に維持し、美しい水資源を守ります。

ダイナミックレジン

DYNAMIC RESIN

下水道施設コンクリート構造物用

上水道施設コンクリート構造物用

雑排水槽施設コンクリート構造物用

各種規格対応

ダイナミックレジン 下水道施設コンクリート構造物用

下水道コンクリート構造物の腐食対策の決定版「ダイナミックレジン防食被覆仕様」は、日本下水道事業団コンクリート腐食技術指針防食環境条件の分類に対応し、お客様のあらゆるニーズにお応えします。

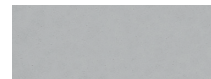
		素地調整 ポリマーセメントモルタル		素地調整 ビニルエステル樹脂	
ダイナミックレジン 下水道防食仕様	エポキシ樹脂 防食被覆材料	A種対応	DR-A工法	-	
		B種対応	DR-B工法		
		C種対応	DR-CG工法 (ガラスクロス仕様)		
			DR-C工法		
			DR-CS工法 (DRシート仕様)		
		D種対応	DR-DG工法 (ガラスクロス仕様)		
	DR-D工法				
	DR-DS工法 (DRシート仕様)				
	ビニルエステル 樹脂 防食被覆材料	B種対応	-	DSK-VE-F工法	
		C種対応	-	DSK-VE-1工法	
D種対応		-	DSK-VE-2工法		

カラーバリエーション

● JDE-30

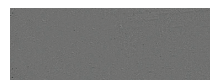


グレー(N-60近似色*)
/H107



ライトグレー(N-75近似色*)
/H104

● VE-408



グレー(N-50近似色*)
/GL2



ライトグレー(N-80近似色*)

*印刷物につき、商品カラーは実物と多少相違することがございますので、塗板見本でご確認ください。

*社団法人日本塗料工業会 塗料用標準色

下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル「平成29年12月版」塗布型ライニング工法の品質規格に対応

■ 下水道施設コンクリート構造物防食被覆材料

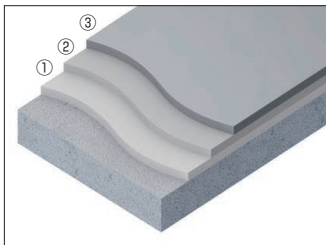
性状		JDE-96		JDE-50		JDE-33		JDE-30		JR-91		DRシート (JDE-DRS)	
		エポキシ樹脂系 ポリマーセメントモルタル 素地調整材		無溶剤型 エポキシ樹脂系 含浸材		無溶剤型 エポキシ樹脂系 中塗材		無溶剤型 エポキシ樹脂系 上塗材		ガラスクロス EPF21A		特殊繊維シート	
外観	A(主剤)	淡黄色液状		灰色揺変性液状		灰色グリス状		灰色揺変性液状		シート状		シート状	
	B(硬化剤)	淡黄色微濁液状		褐色液体		褐色液体		褐色液体		-		-	
	C(骨材)	灰色粉体		-		-		-		-		-	
配合比(A:B)		1:3:8(A:B:C)		4:1		4:1		4:1		-		-	
配合密度(g/cm ³)		1.7		1.3		1.3		1.3		-		-	
備考		-		-		-		-		104cm×100m/巻		104cm×300m/巻	
荷姿(kg)	A(主剤)	2		16		16		16		-		-	
	B(硬化剤)	6		4		4		4		-		-	
	C(骨材)	16		-		-		-		-		-	

この数値は試験値であり保証値ではありません。

エポキシ樹脂防食被覆材料

A種対応 エポキシ2回塗り

DR-A工法



- ③ 上塗(2)
- ② 上塗(1)
- ① 素地調整

●工法性能表

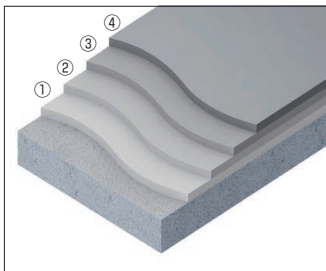
工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整*	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-96	0.5~2.0kg/m ²	金ゴテ等
上塗(1)	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-30	0.2kg/m ²	ローラー等
上塗(2)	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-30	0.2kg/m ²	ローラー等

設計膜厚 0.2mm以上(硬化後厚さ)

※素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

B種対応 エポキシ3回塗り

DR-B工法



- ④ 上塗(3)
- ③ 上塗(2)
- ② 上塗(1)
- ① 素地調整

●工法性能表

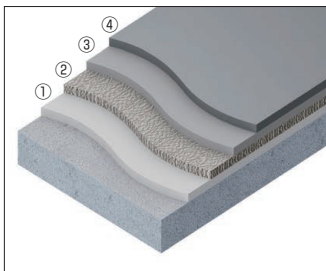
工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整*	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-96	0.5~2.0kg/m ²	金ゴテ等
上塗(1)	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-30	0.2kg/m ²	ローラー等
上塗(2)	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-30	0.2kg/m ²	ローラー等
上塗(3)	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-30	0.2kg/m ²	ローラー等

設計膜厚 0.35mm以上(硬化後厚さ)

※素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

C種対応 ガラスクロス 1ply

DR-CG工法(ガラスクロス仕様)



- ④ 上塗(2)
- ③ 上塗(1)
- ② 補強層
- ① 素地調整

●工法性能表

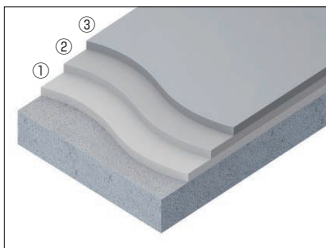
工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整*	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-96	0.5~2.0kg/m ²	金ゴテ等
補強層	無溶剤型エポキシ樹脂系含浸材+ガラスクロス	JDE-50+JR-91	0.7kg/m ² +1.1m ² /m ²	ローラー等
上塗(1)	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-30	0.2kg/m ²	ローラー等
上塗(2)	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-30	0.2kg/m ²	ローラー等

設計膜厚 0.7mm以上(硬化後厚さ)

※素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

C種対応 コーティング(エポキシ2回厚塗り)

DR-C工法



- ③ 上塗
- ② 中塗
- ① 素地調整

●工法性能表

工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整*	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-96	0.5~2.0kg/m ²	金ゴテ等
中塗	無溶剤型エポキシ樹脂系中塗材	JDE-33	0.8kg/m ²	金ゴテ等
上塗	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-30	0.2kg/m ²	ローラー等

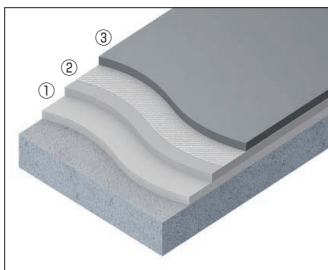
設計膜厚 0.7mm以上(硬化後厚さ)

※素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

ダイナミックレジン 下水道施設コンクリート構造物用

C種対応 DRシート 1ply

DR-CS工法(DRシート仕様)



- ③ 上塗
- ② 中塗+DRシート
- ① 素地調整

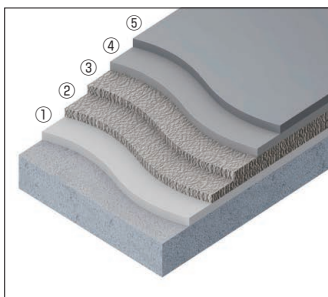
●工法性能表

工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整*	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-96	0.5~2.0 kg /㎡	金ゴテ等
中塗+DSKシート	無溶剤型エポキシ樹脂系中塗材+DSKシート	JDE-33+DRシート	0.8 kg /㎡+1.1 ㎡ /㎡	金ゴテ、ゴムベラ等
上塗	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-30	0.2 kg /㎡	ローラー等
設計膜厚	0.7mm以上(硬化後厚さ)			

*素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

D種対応 ガラスクロス 2ply

DR-DG工法(ガラスクロス仕様)



- ⑤ 上塗(2)
- ④ 上塗(1)
- ③ 補強層(2)
- ② 補強層(1)
- ① 素地調整

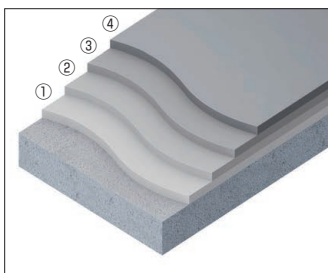
●工法性能表

工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整*	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-96	0.5~2.0 kg /㎡	金ゴテ等
補強層(1)	無溶剤型エポキシ樹脂系含浸材+ガラスクロス	JDE-50+JR-91	0.7 kg /㎡+1.1 ㎡ /㎡	ローラー、ゴムベラ等
補強層(2)	無溶剤型エポキシ樹脂系含浸材+ガラスクロス	JDE-50+JR-91	0.7 kg /㎡+1.1 ㎡ /㎡	ローラー、ゴムベラ等
上塗(1)	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-30	0.2 kg /㎡	ローラー等
上塗(2)	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-30	0.2 kg /㎡	ローラー等
設計膜厚	1.3mm以上(硬化後厚さ)			

*素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

D種対応 コーティング(エポキシ3回厚塗り)

DR-D工法



- ④ 上塗
- ③ 中塗(2)
- ② 中塗(1)
- ① 素地調整

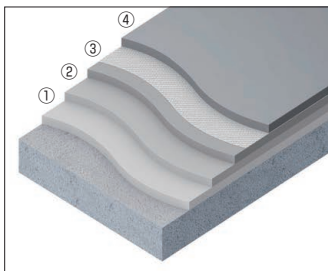
●工法性能表

工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整*	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-96	0.5~2.0 kg /㎡	金ゴテ等
中塗(1)	無溶剤型エポキシ樹脂系中塗材	JDE-33	0.8 kg /㎡	金ゴテ等
中塗(2)	無溶剤型エポキシ樹脂系中塗材	JDE-33	0.8 kg /㎡	金ゴテ等
上塗	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-30	0.2 kg /㎡	ローラー等
設計膜厚	1.3mm以上(硬化後厚さ)			

*素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

D種対応 DRシート 1ply厚塗り

DR-DS工法(DRシート仕様)



- ④ 上塗
- ③ 中塗(2)+DRシート
- ② 中塗(1)
- ① 素地調整

●工法性能表

工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整*	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-96	0.5~2.0 kg /㎡	金ゴテ等
中塗(1)	無溶剤型エポキシ樹脂系中塗材	JDE-33	0.8 kg /㎡	金ゴテ等
中塗(2)+DSKシート	無溶剤型エポキシ樹脂系中塗材+DSKシート	JDE-33+DRシート	0.8 kg /㎡+1.1 ㎡ /㎡	金ゴテ、ゴムベラ等
上塗	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-30	0.2 kg /㎡	ローラー等
設計膜厚	1.3mm以上(硬化後厚さ)			

*素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

■下水道施設コンクリート構造物防食被覆材料

製品名		PUN-270 (JDU-270PUN)	VE-904 (JDE-904)	VE-403F (JDE-403VEF)	VE-403 (JDE-403VE)	VE-408 (JDB-408)	JR-98	JR-99
性状		溶剤型 ウレタン樹脂系 プライマー	ビニルエステル 樹脂系 素地調整材	ガラスフレーク入り ビニルエステル 樹脂系中塗材	ビニルエステル 樹脂系 含浸材	ビニルエステル 樹脂系 上塗材	ガラスマット EM450	サーフェスマット #30P
外観	R(主剤)	液状	液状(A)	液状	液状	液状	シート状	シート状
	促進剤	—	—	—	Q-609 (JE-2509N)	—	—	—
	H(硬化剤)	—	Q-509M (JE-2509M) (冬用Q-509A (JE-2509A))	Q-509M (JE-2509M) (冬用Q-509A (JE-2509A))	Q-509M (JE-2509M) (冬用Q-509A (JE-2509A))	Q-509M (JE-2509M) (冬用Q-509A (JE-2509A))	—	—
	F(骨材)	—	粉状(B)	—	—	—	—	—
配合比(R:H)	—	100:1.5:200(A:H:B) (20℃の場合)	100:1.5	100:0.4:1.5(R:促進剤:H) (20℃の場合)	100:1	—	—	
配合密度(g/cm ³)	—	0.9	—	1.2	1.0	1.1	—	—
備考	—	—	—	—	—	—	104cm×64m/巻	104cm×200m/巻
荷姿(kg)	R(主剤)	16	5	15	16	15	—	—
	促進剤	—	—	—	1	—	—	—
	H(硬化剤)	—	1または5	1または5	1または5	1または5	—	—
	F(骨材)	—	10	—	—	—	—	—

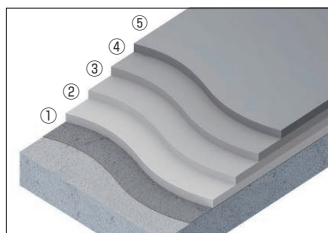
この数値は試験値であり保証値ではありません。

ビニルエステル樹脂防食被覆材料

注)美観性よりも機能性を重視した仕上がりです。

B種対応 ガラスフレーク入り

DSK-VE-F工法



- ⑤ 上塗
- ④ 中塗(2)
- ③ 中塗(1)
- ② 素地調整
- ① プライマー

●工法性能表

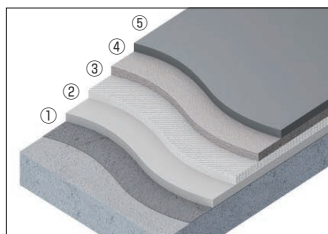
工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
プライマー	ウレタン樹脂系プライマー	PUN-270	0.15 kg / m ²	ローラー等
素地調整*	ビニルエステル樹脂系素地調整材	VE-904	0.5 ~ 2.0 kg / m ²	金ゴテ等
中塗(1)	ガラスフレーク入りビニルエステル樹脂系中塗材	VE-403F	0.4 kg / m ²	ローラー等
中塗(2)	ガラスフレーク入りビニルエステル樹脂系中塗材	VE-403F	0.4 kg / m ²	ローラー等
上塗	ビニルエステル樹脂系上塗材	VE-408	0.2 kg / m ²	ローラー等

設計膜厚 0.35mm以上(硬化後厚さ)

*素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

C種対応 ガラスマット 1ply

DSK-VE-1工法



- ⑤ 上塗
- ④ 表面補強層
- ③ 補強層
- ② 素地調整
- ① プライマー

●工法性能表

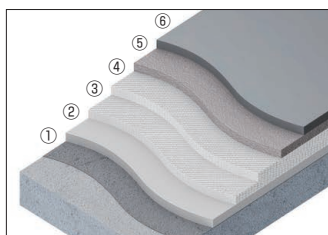
工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
プライマー	ウレタン樹脂系プライマー	PUN-270	0.15 kg / m ²	ローラー等
素地調整*	ビニルエステル樹脂系素地調整材	VE-904	0.5 ~ 2.0 kg / m ²	金ゴテ等
補強層	ビニルエステル樹脂系含浸材+ ガラスマット	VE-403+JR-98	1.1 kg / m ² +1.1 m ² / m ²	脱泡ローラー ローラー等
表面補強層	ビニルエステル樹脂系含浸材+ サーフェスマット	VE-403+JR-99	0.4 kg / m ² +1.1 m ² / m ²	脱泡ローラー ローラー等
上塗	ビニルエステル樹脂系上塗材	VE-408	0.2 kg / m ²	ローラー等

設計膜厚 1.0mm以上(硬化後厚さ)

*素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

D種対応 ガラスマット 2ply

DSK-VE-2工法



- ⑥ 上塗
- ⑤ 表面補強層
- ④ 補強層(2)
- ③ 補強層(1)
- ② 素地調整
- ① プライマー

●工法性能表

工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
プライマー	ウレタン樹脂系プライマー	PUN-270	0.15 kg / m ²	ローラー等
素地調整*	ビニルエステル樹脂系素地調整材	VE-904	0.5 ~ 2.0 kg / m ²	金ゴテ等
補強層(1)	ビニルエステル樹脂系含浸材+ ガラスマット	VE-403+JR-98	1.1 kg / m ² +1.1 m ² / m ²	脱泡ローラー ローラー等
補強層(2)	ビニルエステル樹脂系含浸材+ ガラスマット	VE-403+JR-98	1.1 kg / m ² +1.1 m ² / m ²	脱泡ローラー ローラー等
表面補強層	ビニルエステル樹脂系含浸材+ サーフェスマット	VE-403+JR-99	0.4 kg / m ² +1.1 m ² / m ²	脱泡ローラー ローラー等
上塗	ビニルエステル樹脂系上塗材	VE-408	0.2 kg / m ²	ローラー等

設計膜厚 2.0mm以上(硬化後厚さ)

*素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

※試験結果は、弊社試験室における実験に基づくもので、保証値ではありません。印刷物につき、商品写真と実物とは多少相違することがございます。

雑排水槽施設コンクリート構造物用(ビルピット)

※下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル「平成29年12月版」に対応

■雑排水槽施設コンクリート構造物用(ビルピット)防食被覆材料

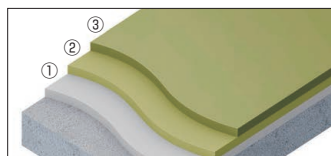
製品名		JDE-962	JDE-375	JDE-355
性状		エポキシ樹脂系 ポリマーセメントモルタル素地調整材	無溶剤型 エポキシ樹脂系中塗材	無溶剤型 エポキシ樹脂系上塗材
外観	R(主剤)	淡黄色液状	黄灰色ペースト状	黄灰色液状
	H(硬化剤)	黄褐色液状	褐色液状	褐色液状
	F(骨材)	灰色粉体	-	-
配合比(R:H)		1:3:8(R:H:F)	4:1	4:1
配合密度(g/cm ³)		1.7	1.3	1.3
備考		-	-	-
荷姿(kg)	R(主剤)	2	16	16
	H(硬化剤)	6	4	4
	F(骨材)	16	-	-

この数値は試験値であり保証値ではありません。

エポキシ樹脂防食被覆材料

C種対応 有機酸、無機酸の作用を受けるコンクリート構造物の防食被覆工法です。

DR-2T-EP工法



- ③ 上塗
- ② 中塗
- ① 素地調整

●工法性能表

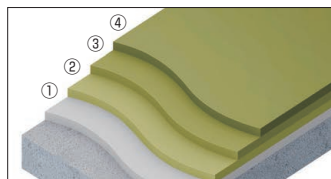
工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-962	0.5~2.0kg/m ²	金ゴテ等
中塗	無溶剤型エポキシ樹脂系中塗材	JDE-375	0.8kg/m ²	金ゴテ等
上塗	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-355	0.2kg/m ²	ローラー等

設計膜厚 0.7mm以上(硬化後厚さ)

※塗材に変色が発生しても防食機能には問題ありません。

D種対応

DR-3T-EP工法



- ④ 上塗
- ③ 中塗(2)
- ② 中塗(1)
- ① 素地調整

●工法性能表

工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-962	0.5~2.0kg/m ²	金ゴテ等
中塗(1)	無溶剤型エポキシ樹脂系中塗材	JDE-375	0.8kg/m ²	金ゴテ等
中塗(2)	無溶剤型エポキシ樹脂系中塗材	JDE-375	0.8kg/m ²	金ゴテ等
上塗	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-355	0.2kg/m ²	ローラー等

設計膜厚 1.3mm以上(硬化後厚さ)

※塗材に変色が発生しても防食機能には問題ありません。

●耐薬品性

薬品名	10%硫酸	10%硝酸	10%苛性酸	10%酢酸	10%酪酸	10%クエン酸	10%プロピオン酸	10%乳酸
JDE-375	○	○	○	○	○	○	○	○
JDE-355	○	○	○	○	○	○	○	○

試験条件: 室温3ヶ月浸漬(重量変化率±1%以下)

ダイナミックレジン 関連材料

下水施設用耐酸断面修復材

下水道用

アシッドモルタル (JDE-115/JDE-115P)

- 東京都下水道局改修技術マニュアルの「断面修復材の要求性能指標」に対応しております。
- 左官施工、吹付け施工が可能です。
- コンクリートとの付着性が優れています。
- 塗布型防食被覆材との接着性に優れている。

●標準配合

	アシッドモルタル (JDE-115)	水	練り上がり量
1袋配合	25kg(1袋)	4.5kg	約14ℓ
1m ² 配合	1775kg(71袋)	319.5kg	約1000ℓ

●打ち継ぎ目安

アシッドモルタルの打ち継ぎ間隔は下地の指触硬化(しまり)を目安とします。

冬期 気温5~15℃	標準 気温16~25℃	夏期 気温26℃
約4時間以上	約2時間以上	約1時間以上

※打ち継ぎが翌日以降になる場合は、打ち継ぎ面に水打ちを行う、もしくはJDE-115Pを0.1kg/m²を目安に噴霧器等を用いて塗布してください。

●物性値

		アシッドモルタル JDE-115	規格値 (東京都下水道局)
単位容積質量		2.1	-
耐流酸性	重量変化(%)	+4.0	±10以内
	硫酸浸透深さ(mm)	1.7	3以下
曲げ強さ(N/mm ²)	3日後	5.3	3.0以上
	28日後	8.3	7.0以上
圧縮強さ(N/mm ²)	3日後	34.0	25.0以上
	28日後	72.0	45.0以上
付着強度(N/mm ²)	28日後	2.8	1.5以上
長さ変化率(%)	28日後	-0.06	-0.1%以上
施工性		1回塗厚2cmが可能	1回塗厚2cmが可能であること

※上記データは代表値であり保証値ではありません。

ダイナミックレジン 関連材料

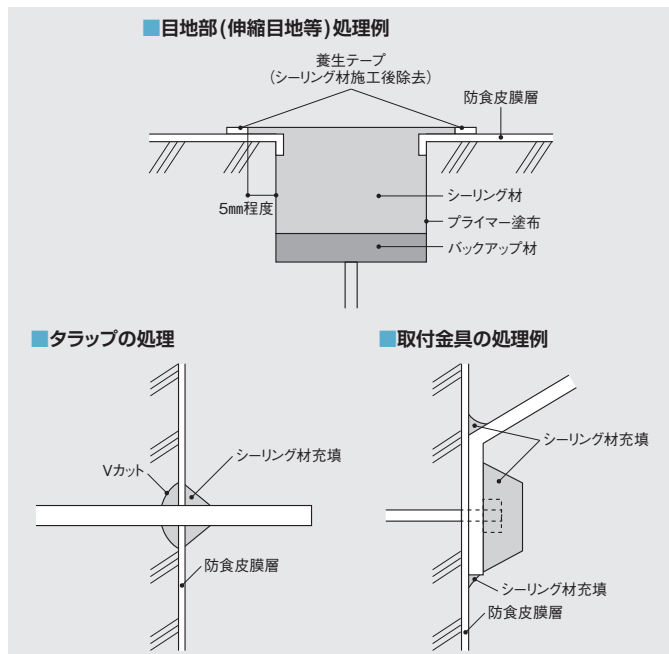
上下水道用シーリング材

上水道用 下水道用

ダイナミックレジン JDE-157

- 下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル「平成24年4月版」シーリング材品質規格、「平成29年12月版」耐有機酸性品質規格に対応
- 日本水道協会 JWWA K-143：2004（溶出試験）対応

●シーリング処理例



●性状

■JDE-157 (シーリング材)

	主剤	硬化剤
主成分	変性ポリアミン	イソシアネート
外観	灰色/パテ状	淡黄色透明液体
配合比	10	6
比重	1.1	
荷姿(kg)	1.5	0.9

■JDE-157P (プライマー)

	主剤	硬化剤
主成分	変性ポリアミン	エポキシ樹脂
外観	淡黄色透明液体	黄色透明液体
配合比	8	1
荷姿(kg)	0.8	0.1

●JDE-157の品質規格

試験項目	単位	規格値	測定値
コンクリートとの接着性(最大引張応力)	N/mm ²	0.4以上	3.94
最大荷重時の伸び	%	100以上	202
耐酸性	目視	10%の硫酸水溶液に60日間浸漬しても、ふくれ、割れ、軟化、溶出がないこと	被覆にふくれ、割れ、軟化、溶出がない
硫黄侵入深さ	μm	10%の硫酸水溶液に120日間浸漬したときの侵入深さが100μm以下であること	2以下
耐アルカリ性	N/mm ²	水酸化カルシウム飽和水溶液に60日間浸漬しても、ふくれ、われ、軟化、溶出がないこと	被覆にふくれ、割れ、軟化、溶出がない

※試験結果は、弊社試験室における実験に基づくもので、保証値ではありません。印刷物につき、商品写真と実物とは多少相違することがございます。


ダイナミックレジン 上水道施設コンクリート構造物用

ダイナミックレジンの上水道ライニング工法は、2タイプ、5種類の工法をご用意しました。それぞれの用途に合わせてお選びいただけます。

ダイナミックレジン 上水道施設ライニング工法	日本水道協会の品質規格 JWWA K-143:2017対応	スタンダード仕様	DR-143マイルド工法 (DR-143工法)
		耐候性仕様	DR-143Sマイルド工法 (DR-143S工法)
		DRシート仕様 (スタンダード工法+ピンホール対策)	DR-143Dマイルド工法 (DR-143D工法)
		ガラスクロス仕様 (スタンダード工法+補強)	DR-143Gマイルド工法 (DR-143G工法)
	日本水道協会の品質規格 JWWA K-149:2004対応	ポリエステル樹脂+ガラスマット	DR-FRP149工法 (DSK-FRP149工法)

カラーバリエーション

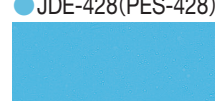
● JDE-34(JDE-34S) ● JDE-701



ブルー(69-70L近似色*)
/H365

ブルー(69-70L近似色*)
/H365

● JDE-428(PES-428)



ブルー(69-70L近似色*)
*印刷物につき、商品カラーは実物と多少相違することがございますので、塗板見本でご確認ください。
*社団法人日本塗料工業会 塗料用標準色

私たちの生活基盤である大切な水。この資源を有効に利用し、また自然環境の中に還元する水処理関連技術や素材、施設施工法は、近年、急速な発展を遂げています。多数の品揃えをご用意し、お客様のあらゆるニーズにお応えします。

● 特長

- ① 優れた接着力
- ② 耐蝕性
- ③ 水質維持
- ④ 長期にわたって、安定した特質を保持する

● 用途

- 浄水場 (着水井・沈砂池・ろ過池・浄水池・配水池・受水槽など)
- その他用途 (農業用、工業用水路・コンクリート構造物など)

■ 上水道施設コンクリート構造物防食被覆材料

製品名		JDE-962	JDE-62 (JDE-620)	JDE-46 (JDE-465)	JDE-34 (JDE-345)	JDE-225	エポキシナー (JDB-3S)	JDE-701	#505シンナー (JDB-505T)	JR-91
性状		エポキシ樹脂系 ポリマーセメントモルタル 素地調整材	無溶剤型 エポキシ樹脂系 下塗材	無溶剤型 エポキシ樹脂系 含浸材	無溶剤型 エポキシ樹脂系 上塗材	溶剤型 エポキシ樹脂系 仕上げ中塗材	JDE-225用 シンナー	溶剤型 アクリルウレタン樹脂系 仕上げ上塗材	JDE-701用 シンナー	ガラスクロス EPF21A
外観	A(主剤)	淡黄色液状	ペースト	揺変性液状	青色揺変性液状	白色液状	透明液体	青色液状	透明液体	シート状
	B(硬化剤)	黄褐色液状	パテ状	液状	淡黄色液体	褐色液状	—	透明液状	—	—
	C(骨材)	灰色粉末	—	—	—	—	—	—	—	—
配合比(A:B)		1:3:8(A:B:C)	2:1	4:1	4:1	3:1	—	5:1	—	—
配合密度(g/cm ³)		1.7	1.5	1.4	1.4	1.3	0.9	1.2	0.9	—
備考		—	—	—	—	—	—	—	—	104cm×100m/巻
荷姿(kg)	A(主剤)	2	10	16	16	12	15	15	14	—
	B(硬化剤)	6	5	4	4	4	—	3	—	—
	C(骨材)	16	—	—	—	—	—	—	—	—

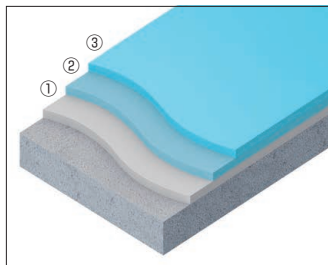
製品名		DRシート (JDE-DRS)
性状		特殊繊維シート
外観	A(主剤)	シート状
	B(硬化剤)	—
	C(骨材)	—
配合比(A:B)		—
配合密度(g/cm ³)		—
備考		300m/巻
荷姿(kg)	A(主剤)	—
	B(硬化剤)	—
	C(骨材)	—

この数値は試験値であり保証値ではありません。

日本水道協会の品質規格 JWVA K-143対応

スタンダード(エポキシ2回厚塗り)で強固な塗膜で高い防食性能

DR-143マイルド工法(DR-143工法)



- ③ 上塗
- ② 下塗
- ① 素地調整

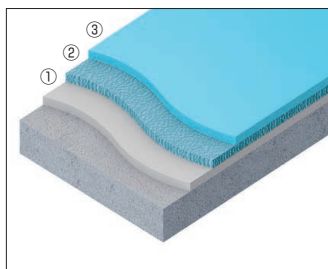
●工法性能表

工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整*	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-962	0.5~2.0kg/m ²	金ゴテ等
下塗	無溶剤型エポキシ樹脂系下塗材	JDE-62 (JDE-620)	0.7kg/m ²	金ゴテ等
上塗	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-34 (JDE-345)	0.2kg/m ²	ローラー等

設計膜厚 0.5mm以上(硬化後厚さ)

※素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

ガラスクロス 1plyでガラスクロスで強靱、耐久性に優れた塗膜

DR-143Gマイルド工法(ガラスクロス仕様)
(DR-143G工法)

- ③ 上塗
- ② 補強層
- ① 素地調整

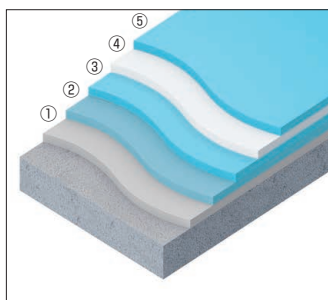
●工法性能表

工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整*	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-962	0.5~2.0kg/m ²	金ゴテ等
補強層	無溶剤型エポキシ樹脂系含浸材+ガラスクロス	JDE-46+JR-91 (JDE-465+JR-91)	0.7kg/m ² +1.1m ² /m ²	ローラー、ゴムベラ等
上塗	エポキシ樹脂系上塗材	JDE-34 (JDE-345)	0.2kg/m ²	ローラー等

設計膜厚 0.7mm以上(硬化後厚さ)

※素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

高耐候性の屋外向け仕様

DR-143Sマイルド工法(耐候性仕様)
(DR-143S工法)

- ⑤ 仕上げ上塗
- ④ 仕上げ中塗
- ③ 上塗
- ② 下塗
- ① 素地調整

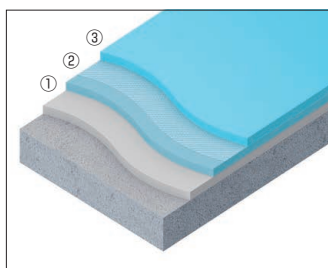
●工法性能表

工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整*	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-962	0.5~2.0kg/m ²	金ゴテ等
下塗	無溶剤型エポキシ樹脂系下塗材	JDE-62 (JDE-620)	0.7kg/m ²	金ゴテ等
上塗	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-34 (JDE-345)	0.2kg/m ²	ローラー等
仕上げ中塗	溶剤型エポキシ樹脂系仕上げ中塗材	JDE-225	0.15kg/m ²	ローラー等
仕上げ上塗	溶剤型アクリルウレタン樹脂系仕上げ上塗材	JDE-701	0.15kg/m ²	ローラー等

設計膜厚 0.5mm以上(硬化後厚さ)

※素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

DRシート 1plyで塗膜のピンホールが防止でき、安定した防食効果

DR-143Dマイルド工法(DRシート仕様)
(DR-143D工法)

- ③ 上塗
- ② 下塗+DRシート
- ① 素地調整

●工法性能表

工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
素地調整*	エポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタル素地調整材	JDE-962	0.5~2.0kg/m ²	金ゴテ等
下塗+DRシート	無溶剤型エポキシ樹脂系含浸材+DRシート	JDE-46+DRシート (JDE-465+DRシート)	0.6kg/m ² +1.1m ² /m ²	ローラー、ゴムベラ等
上塗	無溶剤型エポキシ樹脂系上塗材	JDE-34 (JDE-345)	0.2kg/m ²	ローラー等

設計膜厚 0.5mm以上(硬化後厚さ)

※素地調整材使用量はコンクリート下地の状態により変化します。

ダイナミックレジン 上水道施設コンクリート構造物用

防食

ダイナミックレジン

上水道施設コンクリート構造物用

■上水道施設コンクリート構造物防食被覆材料

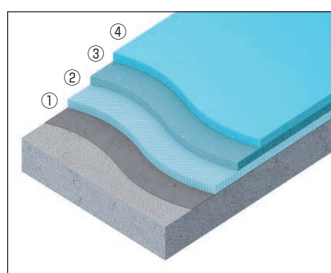
製品名		JDE-270 (PUN-270)	JDE-420 (PES-420)	JDE-428 (PES-428)	JR-98	JR-99
性状	溶剤型 ウレタン樹脂系 プライマー		ポリエステル樹脂系 含浸材	ポリエステル樹脂系 上塗材	ガラスマット EM450	サーフェスマット #30P
	R(主剤)	液状	液状	液状	シート状	シート状
	H(硬化剤)	—	JE-2509M	JE-2509M	—	—
外観	F(骨材)	—	—	—	—	—
	配合比(R:H)	—	100:1.5(20℃の場合)	100:1.5(20℃の場合)	—	—
配合密度(g/cm ³)		0.9	1.0	1.1	—	—
備考		—	—	—	104cm×64m/巻	104cm×200m/巻
荷姿 (kg)	R(主剤)	16	19	15	—	—
	H(硬化剤)	—	1または5	1または5	—	—
	F(骨材)	—	—	—	—	—

この数値は試験値であり保証値ではありません。

日本水道協会の品質規格 JWVA K-149:2004対応

ポリエステル樹脂+ガラスマット 1plyで優れた防水、防食、水質維持性能

DR-FRP149工法(DSK-FRP149工法)



- ④ 上塗
- ③ 表面補強層
- ② 補強層
- ① プライマー

●工法性能表

工程	材料の種類	材料名	標準塗布量	施工方法
プライマー	ウレタン樹脂系プライマー	JDE-270 (PUN-270)	0.2 kg / m ²	ローラー等
補強層	ポリエステル樹脂系含浸材+ガラスマット	JDE-420+JR-98 (PES-420+JR-98)	1.3kg / m ² +1.1 m ² / m ²	脱泡ローラー、ローラー等
表面補強層	ポリエステル樹脂系含浸材+サーフェスマット	JDE-420+JR-99 (PES-420+JR-99)	0.4kg / m ² +1.1 m ² / m ²	脱泡ローラー、ローラー等
上塗	ポリエステル樹脂系上塗材	JDE-428 (PES-428)	0.3 kg / m ²	ローラー等
設計膜厚	1.3mm±0.3mm(硬化後厚さ)			

上水施設用特殊セメント系断面修復材

上水道用

JWショットモルタル JDE-660

- 厚生労働省第5号及び厚生労働省告示第14号による浸出試験 (JWVA Z 108 : 2004, 水道用資材-浸出試験方法)に対応しています。
- 有機系化合物を含まないモルタルです。
- 安定した強度を確保します。
- コテ塗り, 吹き付けの施工が可能です。
- 付着性が高く、コンクリート躯体との一体化が図れます。
- 上水用塗布型ライニング材の断面修復材として使用することが可能です。

●標準配合

	JWショットモルタル	水	練り上がり量
1袋配合	25kg	4.2kg	約13.5ℓ
1m ² 配合	1850kg(74袋)	311kg	約1000ℓ

※練り混ぜ水量は施工時の気温、施工方法等により変化しますので3.9～4.5ℓの範囲で調整して使用ください。

●打ち継ぎ目安

JWショットモルタルの打ち継ぎ間隔は下地の指触硬化(しまり)を目安とします。

冬期 気温5～15℃	標準 気温16～25℃	夏期 気温26℃
約4時間以上	約2時間以上	約1時間以上

※打ち継ぎが翌日以降になった場合は、打ち継ぎ面に水打ちを行った後、施工してください。

●物性値

	材令	試験値	試験方法
単位容積質量	-	2.15	-
フロー値	-	190	JIS R5201
曲げ強さ(N/mm ²)	20℃	3日	4.5
		7日	6.5
		28日	7.1
圧縮強さ(N/mm ²)	20℃	3日	27.6
		7日	47.2
		28日	68
付着強度(N/mm ²)	20℃	7日	1.5
		28日	2.2
凝結時間(時間)	20℃	-	始発2:45 終結3:35
長さ変化率(%)	20℃	28日	0.048
静弾性係数(KN/mm ²)	20℃	28日	27

※上記データは代表値であり、保証値ではありません。

ダイナミックレジンのご使用について

設計指針

- エポキシ樹脂、ビニルエステル樹脂、ポリエステル樹脂等は紫外線や屋内の光源の種類により、変色する場合があります。

施工上の注意点

- コンクリート下地は1ヶ月以上の養生期間を、モルタル下地は夏季2週間以上、冬季3週間以上の養生期間をおとりください。詳細は施工仕様書をご参照ください。
※乾燥不十分な下地は、剥離、水ふくれの原因になりますので十分ご注意ください。
- 下地コンクリートは金ゴテで平滑に仕上げ、汚れ、不陸、クラックなどが無いことを確認してください。
- 上塗りは必ず製造ロット番号をあわせて施工してください。異なる製造ロットを使用すると色ムラになることがあります。
- エポキシ樹脂系商品の場合、低温時、高温時および降雨、降雪、結露等が予想される場合は、アミンブラッシング・白化を起こすことがありますので施工は見合わせてください。
※ブラッシングが発生したとしても、塗膜物性は変わりません。
- 現場条件、工法により違いはありますが7～21日間の養生が必要です。
- 同一物件への追加注文はその旨弊社営業窓口までお知らせ願います。
- 標準施工仕様書の施工方法、注意事項をよく読み、必ず遵守してください。遵守されない場合、仕上がりなどに不具合が発生する恐れがあり、弊社ではその責を負いかねます。

安全対策

- 工事には引火性の溶剤を用います。したがって、工事現場付近では、溶接作業等火気の使用は避けてください。
- 溶剤ガスの充満を避けるため、換気には十分注意してください。
- 樹脂、溶剤には毒性、刺激性のものもあります。直接手や皮膚に触れたり、目に入ったりしないよう、必ず適切な保護具を着用する、十分な換気を行うなど取り扱いには注意してください。
- 樹脂、溶剤などの保管は冷暗所にてお願いします。

共通項目

- 本カタログに記載されている製品の使用、取扱い、保管については、必ず製品説明書および安全データシート(SDS)も合わせてお読みください。
- 記載内容は当社試験結果によるもので十分信頼し得るものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を必ずしも保証したものではありません。また、使用目的、使用条件により結果が相違する場合がありますので、予めご需要家各位でご確認されることを推奨します。

カタログ、サンプル帳、現物サンプルのご請求はホームページにてお受けしております。

<http://www.aica.co.jp/>

アイカ工業



- アイカカタログセンター
- 商品のお問い合わせはアイカ問合せセンターまでお願いいたします。

TEL<052>409-1471 ☎<0120>525-100 TEL<052>409-8313

*問合せセンター・カタログセンターを含む全営業店の営業日は、月～金(除く:土日祝休)です。ホームページからのカタログ・サンプル当日出荷の受付締め時間は14:00です。

*フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・一部のIP電話等からはご利用になれない場合がございます。

業務用

- 改良のため、予告なく仕様及び価格を変更することがありますのでご了承ください。確認はアイカ問合せセンターまでお願いいたします。
- 荷受けの際、必ず破損の有無をご確認ください。万一破損している場合は、運送会社の証明をもらい、至急当社へご連絡ください。
- また、ご使用前に製品に異常がないかも確認してください。(後日に発見された場合は、責を負いかねます。)

- 印刷物につき、商品写真と実物とは相違することがあります。
- ©アイカ工業株式会社 本書に収録したものの一部または全部の無断複製・転載を禁じます。

